

令和2年度
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福祉会

短期入所生活介護

姫路・勝原ホーム短期入所生活介護

令和2年度 事業計画

<p>目 標</p>	<p>担当介護支援専門員と連携を図り、利用者のニーズや心身機能に応じた支援をすすめ、信頼関係を醸成していくことで、稼働率 96%を目指す。</p>
<p>理 由</p>	<p>利用者のニーズや心身機能に加えて、家族からの要望などに関して、担当介護支援専門員と意見交換を重ね、得た情報を担当職員間で話し合い、共通認識のもと、支援をすすめていくことで安心を図り、信頼が得られる利用をすすめたいため。</p> <p>また、利用者や家族が気にする体調管理やレクリエーションなどの余暇活動に関して、配慮するとともにあり方について、PDCAサイクルをもとに検証し、個々の利用者に応じた支援を提案しつつ、実行していきたいため。</p>
<p>具体的対応策</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日々、担当職員間で利用状況を把握し、緊急利用に備える。 2. 月 1 回の実績報告にあわせて、担当介護支援専門員と意見交換を行い、情報を共有するとともに空床状況も伝達する。 3. 意思疎通がかなう利用者には帰宅前に満足度や今後の意向などを確認する。 4. 帰宅送迎時に家族に利用時の様子を説明し、今後の意向などを確認する。 5. 意思疎通がかなう新規利用者には、事前情報をもとに来所時に介護手順や過程などを説明し、合意を得つつ、ニーズや心身機能に応じた支援をすすめる。 6. 支援や業務内容に関して、利用者や家族、担当介護支援専門員からの意見も参考にしつつ、PDCAサイクルをもとに見直し、過ごしやすい環境作りに努めるとともにより利用者ニーズに応じた支援をすすめる。

令和2年度 事業報告

<p>事業報告</p>	<p>利用者のニーズや心身機能に加えて、家族からの要望は送迎時に聞いたり、担当介護支援専門員から聞き取ったりしたことで、利用者にとって、「今、必要な支援は何か」「どのように支援をすすめるべきなのか」などを担当職員間で話し合った。その結果、情報の共有と共通認識が図れ、ニーズや心身状態に合わせた支援を円滑に行うことができた。成功例ができたことで、さらに職員間で話し合う機会が増え、より利用者や家族のニーズや心身状態に合わせた支援に努めていることで、新たな気づきにつながるなど相乗効果が得られている。</p> <p>また、利用者や家族が最も気にしている体調管理については、日頃から看護職員と担当介護支援専門員とも連携を図り、意見交換を行い、体調など状態にあわせた支援に努めていることで、家族からは「安心して利用できる」との言葉もいただいている。</p> <p>コロナ禍で外出支援や集団でのレクリエーション活動が難しい中、3密を避けるなど十分な感染症予防対策を講じつつ、リハビリや手作業レクリエーションに力を注いでいることに加えて、引き続き個々に合わせた支援を行い、信頼関係の醸成に努めている。</p>
<p>事業運営総括</p>	<p>令和2年度は年間平均稼働率が87.3%と前年度を5.9%下回った。施設入居や入院等によるキャンセルも前年と同じようであった中、新型コロナウイルスの感染症対策として、3密を避け、安心して利用して頂けるよう、受入人数を制限したことが減少の主たる要因として、あげられる。</p> <p>受入人数を制限しながらも、現状、一定利用者確保に向け、併設特養の介護支援専門員と連携を図り、特養申込者に長期的な利用を提案するなどの取り組みに努めている。</p> <p>新型コロナウイルスに関して、ワクチン接種が始まるなど明るいニュースもあるが、コロナ禍の状態がいつまで続くか分からない中、稼働率の維持を図るため、引き続き介護支援専門員と情報を共有し、安定した利用に向け、試行錯誤していきたい。</p> <p>また、近隣事業所でも陽性者が確認されている中、安心して利用できるようにより一層、消毒や換気に努め、うがい・手洗い、利用時のマスクの着用など新しい生活様式が浸透するように心がけていきたい。</p>

要介護度の状況 《平均要介護度 介護 3.14》

令和3年3月31日 現在

	人数	割合
要支援1	0	0%
要支援2	0	3%
要介護1	6	16%
要介護2	7	19%
要介護3	11	30%
要介護4	5	13%
要介護5	6	16%
合計	35	97%

月間利用実績（人数）

令和2年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	3
要支援2	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3
要介護1	3	7	5	7	11	7	5	6	4	5	5	6	71
要介護2	9	9	8	10	10	10	12	13	10	8	8	7	114
要介護3	15	17	16	17	15	14	13	11	12	11	10	10	161
要介護4	8	8	7	10	10	10	9	10	9	7	7	6	101
要介護5	5	4	4	5	4	3	6	6	5	4	5	6	57
合計	40	45	41	51	51	45	46	46	40	35	35	35	510

月間利用実績（延べ人数） 《稼働率 87.3%》

令和2年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	0	0	0	4	0	4	3	0	0	0	0	0	11
要支援2	0	0	6	6	3	0	0	0	0	0	0	0	15
要介護1	38	87	63	80	114	127	86	83	62	72	58	69	939
要介護2	103	71	59	79	78	102	78	84	89	87	88	86	1,004
要介護3	179	222	195	216	165	162	171	137	130	118	99	130	1,924
要介護4	78	67	93	96	114	111	101	101	112	62	63	56	1,054
要介護5	68	57	59	52	62	39	94	85	73	67	56	75	787
合計	466	504	475	533	536	545	533	490	466	406	364	416	5,734

曜日別延べ利用実績

令和2年度

	月	火	水	木	金	土	日	合計
人数	880	848	885	813	842	718	748	5,734
割合	16%	15%	16%	14%	15%	11%	13%	100%

1週当り平均利用人員

令和2年度

	月	火	水	木	金	土	日	合計	1日平均
人数	16.9	16.3	16.6	15.6	16.1	13.8	14.3	109.60	15.65
割合	16%	15%	16%	14%	15%	11%	13%	100%	

年齢別構成状況

令和3年3月31日 現在

	65歳以下	65歳以上	70歳以上	75歳以上	80歳以上	85歳以上	90歳以上	合計
		から 70歳未満	から 75歳未満	から 80歳未満	から 85歳未満	から 90歳未満		
男	1	1	0	2	4	1	2	11
女	0	0	0	3	4	4	13	24
全体	1	1	0	5	8	5	15	35

行事報告

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
4月		計算・脳トレーニング 外出ドライブ・数字パズル	連想ゲーム ビンゴゲーム 棒体操
5月		ちぎり絵・漢字トレーニング ・点つなぎ・裁縫	都道府県ゲーム 連想ゲーム 北国の春体操
6月		塗り絵・脳トレーニング 珠算検定・神経衰弱	連想ゲーム ビンゴゲーム 水戸黄門体操
7月	七夕の飾りつけ	漢字トレーニング・裁縫 ちぎり絵・数字パズル	積み木ゲーム 連想ゲーム ボール体操
8月		ことわざクイズ・飾り作り ちぎり絵・パズル	競馬ゲーム 連想ゲーム 北国の春体操
9月		カルタ・漢字トレーニング 塗り絵・点つなぎ	連想ゲーム 紙芝居 グーパー体操
10月		脳トレーニング・裁縫 外出ドライブ・ちぎり絵	ボールゲーム 積み木ゲーム 新聞体操
11月		漢字トレーニング・塗り絵 神経衰弱・カルタ	連想ゲーム 点取りゲーム 棒体操
12月	クリスマス会	裁縫・飾り作り・珠算検定	食べ物集めゲーム 連想ゲーム 北国の春体操
1月	絵馬づくり	おたふく・脳トレーニング 飾り作り・折り紙	おたふくゲーム トランプ、カルタ グーパー体操
2月	節分豆まき	塗り絵・裁縫・数字パズル カルタ・ことわざクイズ	連想ゲーム ボールゲーム 水戸黄門体操
3月	施設内レクリエーション	数字パズル 飾り作り・脳トレーニング	トランプ 連想ゲーム 新聞体操

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
定期的	お誕生会	飾り作り・塗り絵・パズル	足踏み・音楽による体操 リハビリ体操 連想ゲーム

苦情対応、事故対応

令和2年度なし